

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名； 総合診療科・内科研修プログラム

病院名：高崎総合医療センター

2. 診療科（専門領域）

総合診療科・内科

3. コースの概要

留学期間中、コモンディジースや内科系救命疾患を含め、全人的総合診療にあたる。

4. 短期目標

専門領域と特定せず、一般内科系疾病の診断に必要な基礎的知識，検査法，また疾患，重症度に応じた治療法の基本を修得することを目的とする。全身的症候や複合的身体上の問題点を抽出し、これに対応すべく、広く内科全般に渡る基礎的臨床力の取得もできることを目標とする。

5. 長期目標

内科学を中心とした専門知識と幅広い臨床能力を取得し、総合診療医としての全人的な対応能力を養う。また個々の患者の有する生活環境や身体能力に応じた問題点を認識しチーム医療を以て解決する能力を身につける。

6. 取得手技

- ・ 主要疾病における各疾患の診断基準を理解し，的確な診断および各疾患の活動性，重症度の基礎的判断力が修得できる。
- ・ 全身領域に渡り重症度に応じた初期対応がとれる。
- ・ 主治医機能を有したまた専門領域医師と協働できる。
- ・ 患者を中心としたチーム医療を展開できる。
- ・ 疾病診断・治療に必要な基本的手技を中心に集学的治療に到る各種手技（気管内挿管、人工呼吸器管理、人工透析管理）に関してもある程度修得できる。

7. 研修期間：3 か月から 12 カ月（3 か月単位とする）

8. 募集人数：一単位期間 3 名まで

9. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
細菌性肺炎	300
敗血症	100
糖尿病	100
膠原病・血管炎症候群	20
悪性リンパ腫	20

10. 診療科の指導体制診療科医師数

常勤 3 名

診療科研修の指導にあたる医師 2 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 佐藤 正通（経験年数 30 年）

11. コンセプト

専門領域別診療に捉われず、患者の受療行動に応じ一般外来から救急外来に至る全身領域に渡る初期診療に対応出来る能力を身に付ける。全身的症候や複合的疾患、診断困難例、専門診療科対応困難例についても積極的に主治医として診療にあたり、ICU 管理含め、必要に応じた入院診療能管理能力、技能、知識を広く身に付ける。患者個人の有する医学的、生活環境上の問題点を抽出、認識しこれの解決に努める。

12. 共通領域研修について

総合診療合同症例検討会

地域内合同症例検討会（月一回）臨床カンファレンス（週一回）

総合診療セミナー（半年に一回）